

I 予算編成の概況

1	予算の特徴	2
2	各会計予算の規模	3
3	歳入予算（一般会計）	4
4	歳出予算（一般会計）	6
5	予算規模（一般会計・特別会計）の推移	10

1

予算の特徴

今日の声を、明日のかたちにする予算

世界的な経済構造の変化や国際情勢の不安定化、物価高騰、テクノロジーの進化がもたらす加速度的なデジタルシフトなど、私たちの暮らしは大きな転換期を迎えています。こうした状況の中、区民生活の安全安心と将来への希望を確かなものにするため、区民の今日の声を受け止め、財政健全化も考慮しながら暮らしの基盤の強化を図る施策を積極的かつ着実に展開していきます。

まず、区民生活へ深刻な影響を及ぼしている物価高騰対策について、実効性を重視して全力で取り組みます。依然として食料品を中心とした物価高騰が家計の安心を揺るがしていることから、令和7年度補正予算にて速やかに経費計上をした「1人1万円分のギフトカード」を配付し、区民生活への支援を行います。

さらに、その影響は、公共施設の工事費や労務単価の上昇、家賃等幅広い分野に及んでいます。区民生活を守るための必要な対応を、令和8年度においても滞りなく進めていきます。

また、令和8年度は、以下の6つの重点テーマを推進し、時代の変化に的確に対応しながら、地域社会の活力と未来への可能性を力強く切り拓いてまいります。

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 子育て・教育の充実 | 2 福祉の充実 |
| 3 地域の活性化と産業振興を推進 | 4 持続可能な社会の推進 |
| 5 安全・安心を実感するまち | 6 スマートな暮らしの実現 |

加えて、AI技術は、日々想像を超える速度で進化しています。この革新的な力を有効に活用し、効果的な情報発信へとつなげていきます。

また、区では、組織変革を進めています。「挑戦 -千代田らしさを、私らしく-」という存在意義（パーパス）を原動力に、千代田という唯一無二の自治体に奉仕する誇りと責任を持ち、変化を恐れず、前へ歩みます。職員一同、成果に結びつける区政運営を徹底し、区民生活の質の向上を実現してまいります。

令和8年度当初予算は、一般会計は916億1,057万円、国民健康保険事業会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の3つの特別会計を加えた全会計合計は1,062億1,356万円となり、過去最大の予算額です。

千代田区第4次基本構想が掲げる概ね20年先の将来像である「伝統と未来が調和し、躍進するまち～彩りあふれる、希望の都心～」をめざし、千代田の新時代へ果敢に挑戦してまいります。

千代田区長 樋口高顕

2

各会計予算の規模

- 令和8年度の全会計合計の予算規模は、1,062億14百万円、前年度対比167億68百万円、18.7%の増となり、全会計合計の当初予算規模としては、過去最大となりました。
- 一般会計は、916億11百万円、前年度対比162億58百万円、21.6%の増となり、一般会計の当初予算規模としては、過去最大となりました。なお、区民一人あたりの予算額は132万5千円※となりました。
- 国民健康保険事業会計は、64億89百万円、前年度対比△64百万円、△1.0%の減となりました。
- 介護保険特別会計は、55億92百万円、前年度対比4億1百万円、7.7%の増となりました。
- 後期高齢者医療特別会計は、25億22百万円、前年度対比1億74百万円、7.4%の増となりました。

※令和8年度一般会計予算額を令和8年1月1日現在の住民基本台帳人口69,139人で除して算出した額です。

各会計予算の編成状況

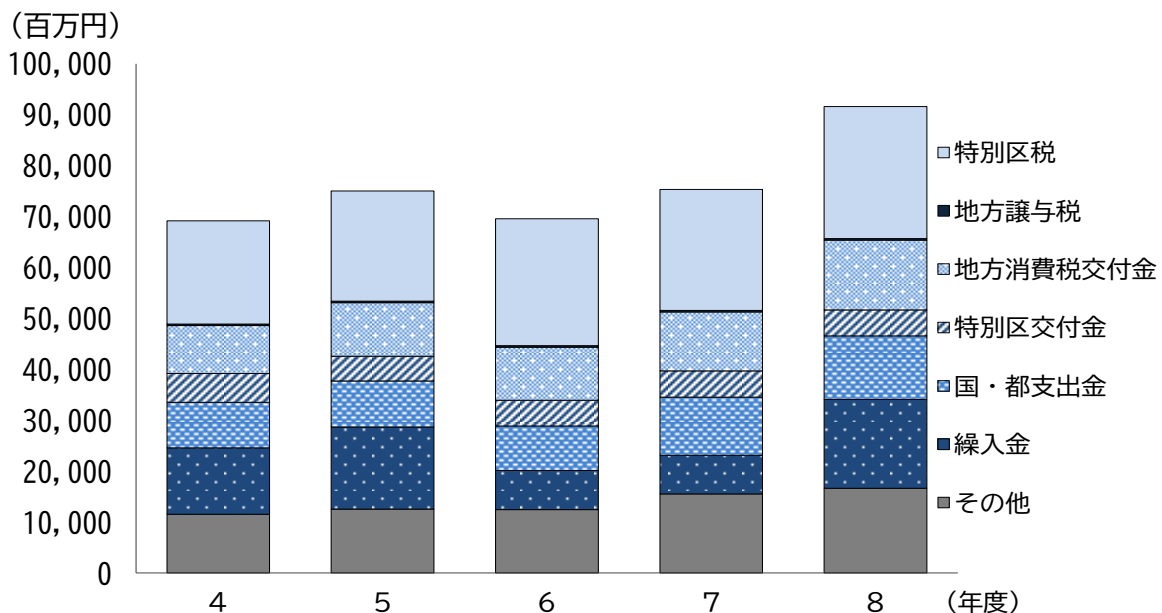
(単位：千円)

会 計 名	令和8年度予算額	令和7年度予算額	増(△)減額	増(△)減率
一 般 会 計	91,610,567	75,353,052	16,257,515	21.6%
国民健康保険事業会計	6,489,188	6,553,113	△63,925	△1.0%
介 護 保 険 特 別 会 計	5,591,538	5,190,760	400,778	7.7%
後期高齢者医療特別会計	2,522,263	2,348,146	174,117	7.4%
全 会 計 合 計	106,213,556	89,445,071	16,768,485	18.7%

3 歳入予算（一般会計）

- 特別区税は、前年度対比 21 億 75 百万円、9.2%の増となりました。このうち特別区民税は、課税標準額の増などにより、前年度対比 22 億 29 百万円、10.7%の増、特別区たばこ税は、売渡本数の減により、前年度対比△53 百万円、△1.8%の減となりました。
- 地方消費税交付金は、暦日要因のため本来令和 7 年度に交付される交付金の一部が令和 8 年度に繰り越されることによる増などにより、前年度対比 21 億円、18.1%の増となりました。
- 国庫支出金は、「道路交通安全対策事業費」△70 百万円の減などがあるものの、「防災・安全交付金」5 億 28 百万円、「社会資本整備総合交付金」1 億 79 百万円の増などにより、前年度対比 6 億 71 百万円、10.9%の増となりました。
- 都支出金は、「公営住宅整備事業費」1 億 50 百万円、「都市計画交付金」1 億 32 百万円、「保育所等利用多子世帯負担軽減事業」1 億 13 百万円の増などにより、前年度対比 3 億 97 百万円、7.5%の増となりました。
- 寄附金は、「さくら再生事業寄附金」△8 百万円の減などがあるものの、ふるさと納税制度の活用による「一般寄附金」4 億円の増などにより、前年度対比 3 億 92 百万円、23.3%の増となりました。
- 繰入金は、（仮称）四番町公共施設整備の増などに伴う「社会資本等整備基金繰入金」59 億 85 百万円、（仮称）神田錦町三丁目施設の整備の増などに伴う「高齢者福祉基金繰入金」16 億 82 百万円、ICT 学校教育システムの推進（小学校管理費、中学校管理費）の増などに伴う「子ども・子育て支援事業基金繰入金」13 億 63 百万円の増などにより、前年度対比 98 億 64 百万円、130.4%の増となりました。
- 繰越金は、近年の区の実質収支額の状況等を勘案し、前年度対比 4 億円、400.0%の増となりました。
- 諸収入は、「歳計現金及び歳入歳出外現金預金利子」13 百万円、「生活保護費返還金」10 百万円の増などがあるものの、「デジタル基盤改革支援補助金」△3 億 36 百万円の減などにより、前年度対比△3 億 20 百万円、△12.5%の減となりました。

歳入予算額の推移



歳入予算一覧表

科目	区分	令和8年度予算額		令和7年度予算額		増(△)減額	増(△)減率
		金額	構成比	金額	構成比		
		千円	%	千円	%	千円	%
1	特別区税	25,928,484	28.3	23,753,248	31.5	2,175,236	9.2
	特別区民税	22,980,050	25.1	20,751,198	27.5	2,228,852	10.7
	軽自動車税	35,778	0.0	37,310	0.0	△1,532	△4.1
	特別区たばこ税	2,904,176	3.2	2,957,555	3.9	△53,379	△1.8
	入湯税	8,480	0.0	7,185	0.0	1,295	18.0
2	地方譲与税	303,330	0.3	311,850	0.4	△8,520	△2.7
3	利子割交付金	270,000	0.3	150,000	0.2	120,000	80.0
4	配当割交付金	550,000	0.6	410,000	0.5	140,000	34.1
5	株式等譲渡所得割交付金	500,000	0.5	350,000	0.5	150,000	42.9
6	地方消費税交付金	13,700,000	15.0	11,600,000	15.4	2,100,000	18.1
7	自動車取得税交付金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
8	環境性能割交付金	1	0.0	85,000	0.1	△84,999	△100.0
9	地方特例交付金	100,000	0.1	15,000	0.0	85,000	566.7
10	特別区交付金	5,071,469	5.5	5,118,788	6.8	△47,319	△0.9
11	交通安全対策特別交付金	17,000	0.0	17,000	0.0	0	0.0
12	分担金及び負担金	186,283	0.2	287,899	0.4	△101,616	△35.3
13	使用料及び手数料	8,982,210	9.8	8,677,282	11.5	304,928	3.5
14	国庫支出金	6,849,568	7.5	6,178,149	8.2	671,419	10.9
15	都支出金	5,662,910	6.2	5,266,114	7.0	396,796	7.5
16	財産収入	1,248,485	1.4	1,227,128	1.6	21,357	1.7
17	寄附金	2,072,649	2.3	1,680,890	2.2	391,759	23.3
18	繰入金	17,430,139	19.0	7,566,569	10.0	9,863,570	130.4
19	繰越金	500,000	0.5	100,000	0.1	400,000	400.0
20	諸収入	2,238,038	2.4	2,558,134	3.4	△320,096	△12.5
	歳入合計	91,610,567	100.0	75,353,052	100.0	16,257,515	21.6

※入湯税は地方税法に基づき、観光の振興経費へ活用します。

※地方譲与税のうち、森林環境譲与税（33,330千円）については、森林の整備及びその促進に関する費用に活用します。

※地方消費税交付金のうち、平成26年度の消費税法改正に伴う税率改定分については、社会保障費へ活用します。

4

歳出予算（一般会計）

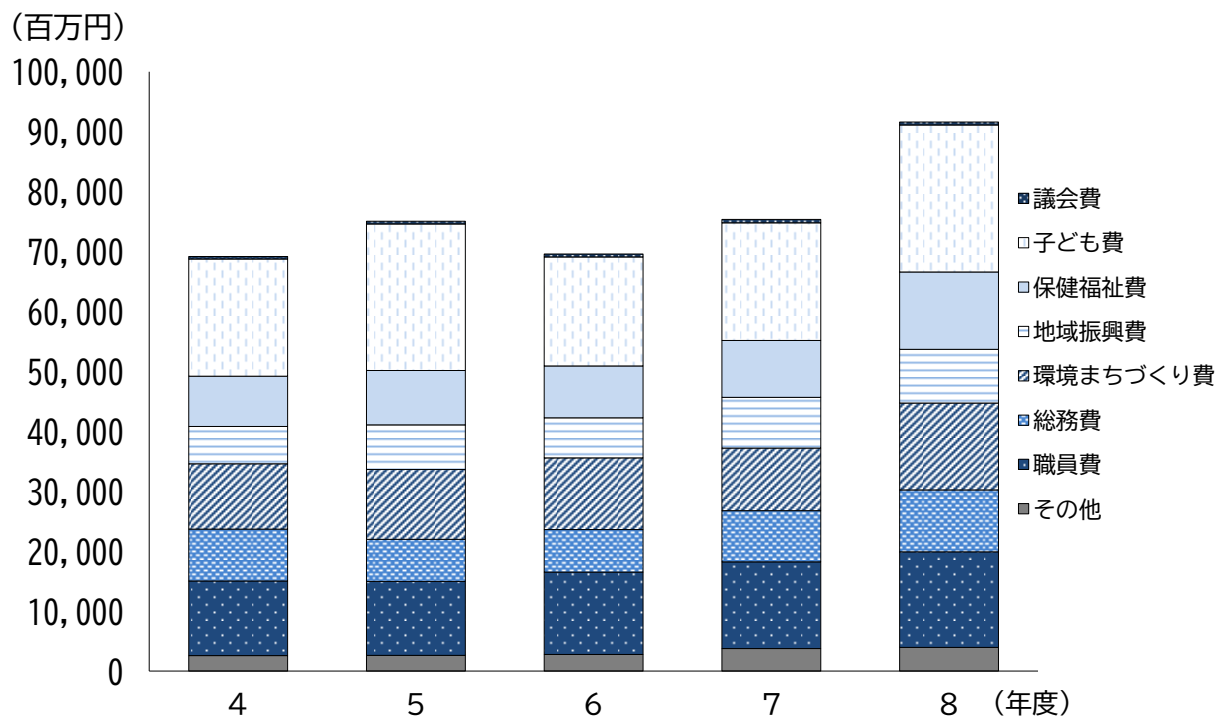
（1）目的別歳出

- 議会費は、「議員控室エリアの整備」14百万円、「議会ホームページ運営」14百万円の増などがあるものの、「議会運営システム・設備の更新」の完了に伴う△79百万円の減などにより、前年度対比△59百万円、△10.4%の減となりました。
- 子ども費は、「(仮称)四番町公共施設整備」22億74百万円、「ICT学校教育システムの推進(小学校管理費、中学校管理費)」12億94百万円、「児童福祉施設管理運営(施設改修)」2億25百万円、「乳児等通園支援事業」1億50百万円の増などにより、前年度対比48億93百万円、24.9%の増となりました。
- 保健福祉費は、「(仮称)神田錦町三丁目施設の整備」32億35百万円の増などにより、前年度対比34億32百万円、36.1%の増となりました。
- 地域振興費は、「ちよだアートスクエア改修整備」△7億64百万円、「内幸町ホール改修整備」△5億44百万円の減などがあるものの、「(仮称)四番町公共施設整備」11億28百万円、「新スポーツセンターの整備」6億3百万円の増などにより、前年度対比4億74百万円、5.6%の増となりました。
- 環境まちづくり費は、「(仮称)四番町公共施設整備」18億81百万円、「市街地再開発事業の推進」10億55百万円、「公園・児童遊園の整備」4億99百万円の増などにより、前年度対比40億67百万円、39.0%の増となりました。
- 総務費は、「全庁LANのリプレース」8億2百万円、「(仮称)四番町公共施設整備」6億37百万円、「旧軽井沢少年自然の家の解体」2億44百万円の増などにより、前年度対比18億9百万円、21.2%の増となりました。
- 職員費は、職員数の増や定年引上げによる退職手当の増などにより、前年度対比14億82百万円、10.3%の増となりました。
- 公債費は、金利の変動状況を踏まえた「基金の繰替運用に係る利子」の減により、前年度対比△4百万円、△50.0%の減となりました。

歳出予算一覧表（目的別）

科目	区分	令和8年度予算額		令和7年度予算額		増(△)減額 千円	増(△)減率 %
		金額	構成比	金額	構成比		
		千円	%	千円	%	千円	%
1	議会費	508,535	0.6	567,513	0.8	△58,978	△10.4
2	子ども費	24,514,863	26.8	19,621,625	26.0	4,893,238	24.9
3	保健福祉費	12,928,226	14.1	9,496,298	12.6	3,431,928	36.1
4	地域振興費	8,948,913	9.8	8,475,267	11.2	473,646	5.6
5	環境まちづくり費	14,501,738	15.8	10,434,945	13.8	4,066,793	39.0
6	総務費	10,328,290	11.3	8,518,821	11.3	1,809,469	21.2
7	職員費	15,944,138	17.4	14,461,702	19.2	1,482,436	10.3
8	公債費	3,836	0.0	7,672	0.0	△3,836	△50.0
9	諸支出金	3,482,028	3.8	3,319,209	4.4	162,819	4.9
10	予備費	450,000	0.5	450,000	0.6	0	0.0
	歳出合計	91,610,567	100.0	75,353,052	100.0	16,257,515	21.6

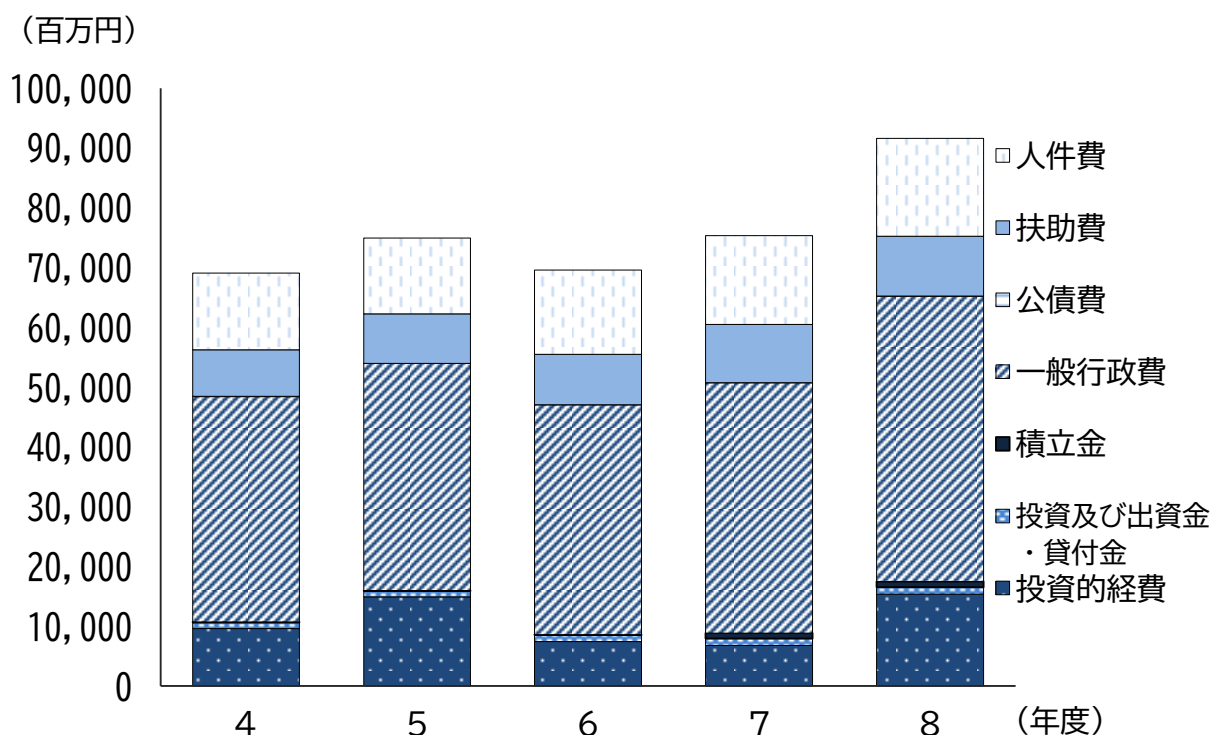
歳出予算額（目的別）の推移



(2) 性質別歳出

- 義務的経費は、前年度対比 17 億 94 百万円、7.3%の増となりました。
- そのうち人件費は、職員数の増や定年引上げによる退職手当の増などにより、前年度対比 14 億 87 百万円、10.0%の増となりました。
- 扶助費は、「障害福祉サービス」△59 百万円の減などがあるものの、「私立保育所等運営補助（認可保育所）」2 億 1 百万円、「中高生世代応援手当」1 億 26 百万円の増などにより、前年度対比 3 億 11 百万円、3.2%の増となりました。
- 公債費は、金利の変動状況を踏まえた「基金の繰替運用に係る利子」の減により、前年度対比△4 百万円、△50.0%の減となりました。
- 一般行政費は、前年度対比 58 億 56 百万円、14.0%の増となりました。
- そのうち物件費は、「ICT学校教育システムの推進（小学校管理費、中学校管理費）」12 億 74 百万円、「全庁LANのリプレイス」8 億 2 百万円、「新スポーツセンターの整備」6 億 3 百万円、「ふるさと納税制度の活用」1 億 75 百万円、「四番町保育園・児童館仮施設整備・運営」1 億 17 百万円の増などにより、前年度対比 35 億 92 百万円、13.8%の増となりました。
- 補助費等は、「市街地再開発事業の推進」10 億 55 百万円の増などにより、前年度対比 11 億 40 百万円、9.3%の増となりました。
- 投資的経費は、「ちよだアートスクエア改修整備」△7 億 61 百万円、「内幸町ホール改修整備」△5 億 39 百万円の減などがあるものの、「(仮称) 四番町公共施設整備」59 億 5 百万円、「(仮称) 神田錦町三丁目施設の整備」32 億 29 百万円の増などにより、前年度対比 85 億 84 百万円、126.9%の増となりました。

歳出予算額（性質別）の推移

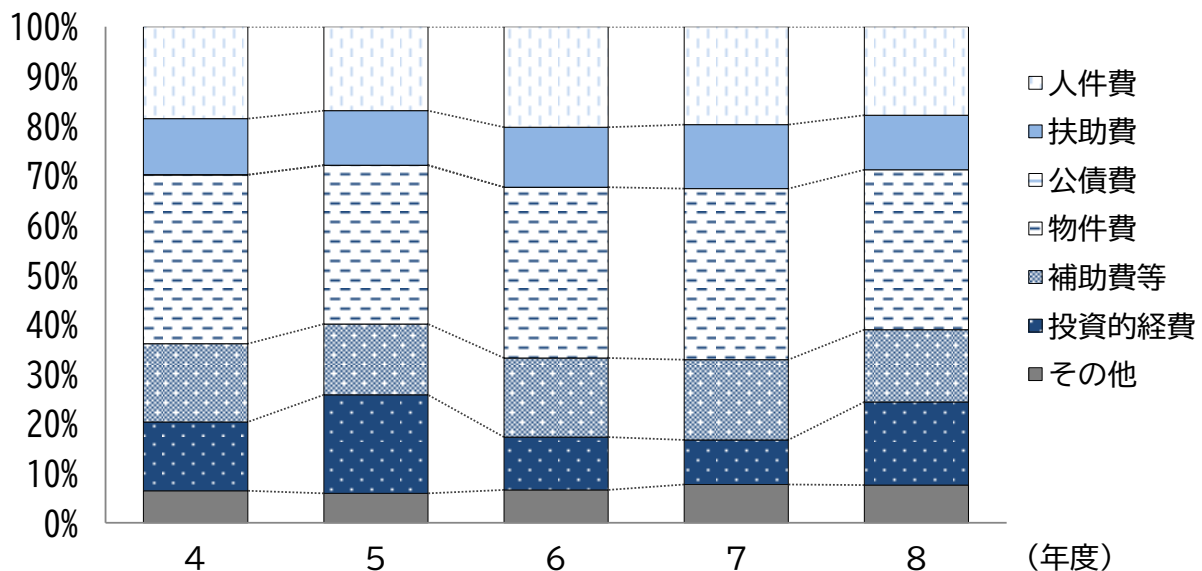


歳出予算一覧表（性質別）

区 分 科 目	令和8年度予算額		令和7年度予算額		増(△)減額 千円	増(△)減率 %
	金 額 千円	構成比 %	金 額 千円	構成比 %		
義 務 的 経 費	26,409,338	28.8	24,615,299	32.7	1,794,039	7.3
人 件 費	16,358,635	17.9	14,871,313	19.7	1,487,322	10.0
扶 助 費	10,046,867	11.0	9,736,314	12.9	310,553	3.2
公 債 費	3,836	0.0	7,672	0.0	△3,836	△50.0
一 般 行 政 費	47,746,001	52.1	41,890,404	55.6	5,855,597	14.0
物 件 費	29,556,147	32.3	25,964,265	34.5	3,591,882	13.8
補 助 費 等	13,332,901	14.6	12,192,990	16.2	1,139,911	9.3
繰 出 金	2,511,498	2.7	2,372,629	3.1	138,869	5.9
そ の 他	2,345,455	2.6	1,360,520	1.8	984,935	72.4
積 立 金	970,530	1.1	946,580	1.3	23,950	2.5
投 資 及 び 出 資 金	134,430	0.1	134,535	0.2	△105	△0.1
貸 付 金	1,003,575	1.1	1,003,575	1.3	0	0.0
投 資 的 経 費	15,346,693	16.8	6,762,659	9.0	8,584,034	126.9
歳 出 合 計	91,610,567	100.0	75,353,052	100.0	16,257,515	21.6

※「その他」は、維持補修費、予備費です。

歳出予算（性質別）構成比の推移



※「その他」は、繰出金、維持補修費、予備費、積立金、投資及び出資金、貸付金です。

5

予算規模（一般会計・特別会計）の推移

各会計当初予算額の年度別推移は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

年 度	8	7	6	5	4
一 般 会 計	91,611	75,353	69,576	75,043	69,177
国民健康保険事業会計	6,489	6,553	7,190	6,391	5,814
介護保険特別会計	5,592	5,191	5,141	4,921	4,747
後期高齢者医療特別会計	2,522	2,348	2,305	2,141	1,979
合 計	106,214	89,445	84,211	88,496	81,717
対前年度伸び率	18.7%	6.2%	△4.8%	8.3%	6.9%

年 度	3	2	元	30	29
一 般 会 計	63,952	64,626	60,482	61,965	54,599
国民健康保険事業会計	5,831	5,726	5,521	5,442	6,091
介護保険特別会計	4,793	4,317	4,323	4,451	4,538
後期高齢者医療特別会計	1,897	1,859	1,754	1,656	1,587
合 計	76,473	76,527	72,080	73,513	66,816
対前年度伸び率	△0.1%	6.2%	△1.9%	10.0%	△1.8%

※令和3年度予算額は、同時補正予算を含む数値です。